

学校だより

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和3年度 第15号
2021. 7. 15発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 校長集会サイエンスショー6回目を実施しました。 ◆◆



サイエンスショーの中身を紹介しましょう。

丸底フラスコにお水を入れて、写真のようにガスバーナーで熱します。フラスコのお水は、やがてボコボコ沸騰してきます。フラスコから湯気が十分に出てきたら、火を消して、ゴム栓でフラスコの口をふさぎます。そしてこのフラスコをひっくり返します。

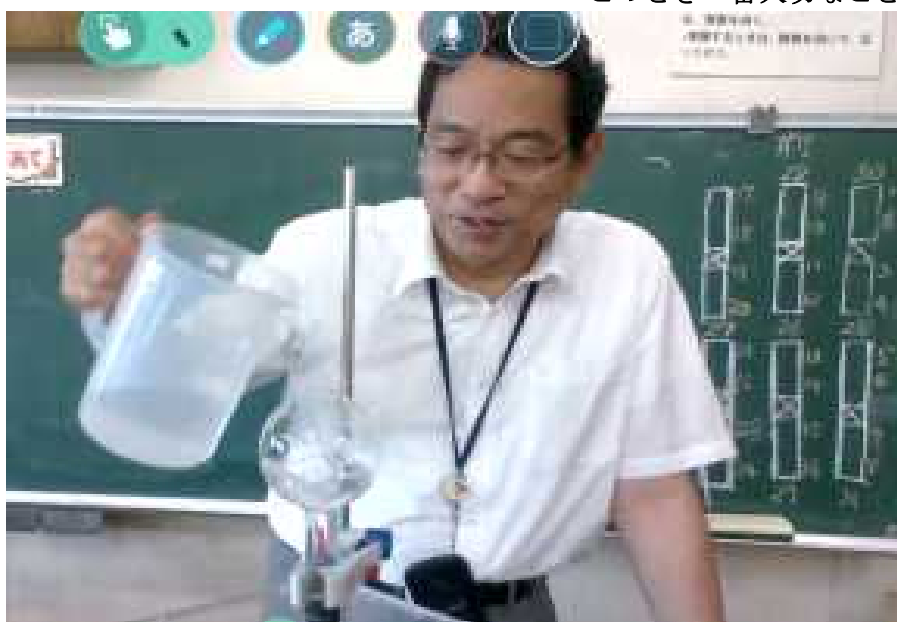
子どもたちへの問いかけの内容は、この時、フラスコにお水をかけると、何が起こるのでしょうか？というものです。

- ①ガラス容器が割れる
- ②中のお水が再び沸騰する
- ③ゴム栓が吹っ飛ぶ
- ④水が急に桃色になる

の4択の中に答えがあるのですが、分かりますか？

このとき一番大切なことは、空気が入っているように見えますが、フラスコの中には、空気はほとんどなくて、水蒸気（というお水が気体になって見えなくなったもの）が、たまっていることです。

水蒸気は水をかけて冷やしてしまうと、お水になってしまいます。すると、空気があるように見えるところは、空気がとても薄いエベレスト山頂のような状況になってしまいます。エベレスト山頂ではお水は71℃で沸騰してしまいます。今回は実験が大変うまくいき、もっと空気の薄い、真空に近い状況が作れたので、お水は30℃くらいでも沸騰してくれました。お水は100℃で沸騰するというのは、空気の濃い地上でのお話だったのです。（写真フラスコの中の水が、ボコボコしているのが、分かりますが・・・）



今回も3年生以上は Chromebook を使って参加してもらいましたが、360人近くが一度にアクセスすると、ログインできない、動画が動かない等のトラブルが発生しました。このようなトラブルが起こらないで実施できる方法も、見つけていきたいと考えています。

◆◆ 学期空けの9月1日より、留守番電話設定時間が変わります。 ◆◆

朝の7:45は変更ありませんが、夕方は、5:30より留守番電話設定となります。従来より30分設定時間が早まりますので、ご注意ください。

◆◆ 学校閉校日は、8/10（火）～8/13（金）の4日間です。 ◆◆

大急ぎ伝えなければならないことがある場合などは、学校閉校日期間は、町役場 876-1111 代表番号に電話して、町教委学校教育課へ、お伝えください。

◆◆ 地域の方 長柄・桜山古墳を守る会 の さんからお便りがありました。 ◆◆

4月23日、6年生に対して長柄桜山古墳を案内して下さった 様から、お便りをいただきました。「説明は静かに聞く。また質問には元気に答えてくださる」案内人にとってはこれほど嬉しいことはないと言われ、6年生をたたえてくださいました。その上で、「平氏は、正盛 忠盛 清盛 維盛 六代(最後の人)ですから、維盛は5代なのに、4代と案内してしまった」ことに、皆さんの作品を見て気付いたそうです。熱心にメモをとる児童の姿を今も忘れていませんと手紙に書かれていました。

さんご自身、都内から逗子へ移り住んだ当初「六代御前」という聞き慣れないバス停に興味を持って、「平家物語」を手にしたことから始まった古墳との出会いだったそうです。申し訳ありませんとの丁寧な訂正とともに、「古墳を守り伝えて未来へ」あの日の児童たちの輝く瞳を見て、しっかりと繋いでいけると自信を持ったとお伝えいただきました。

◆◆ 葉山町PTA連絡協議会による児童を守る1コイン非常食が配備されました。 ◆◆



本校2階資料室に、無事、児童を守る非常食が配備されました。7月12日のPTA運営委員会にて、会長様からご披露と紹介がありました。

この非常食配備は、私が一色小学校長時代に葉山町PTA連絡協議会に投げかけたアイデアです。そのことを覚えていらっしゃる会長が、「何か一言」と、私に話す場面を用意してくださいました。

当時は、学校に非常食が全くない状況でした。ひとたび罹災者となり学校に避難してきたときから、「避難所に食料の準備もないのか!?!」と、避難者の方々の不満も受け止めなければならない状況に危機感を覚えていました。

食料がきちんとあれば、避難住民の方々の協力を得ての避難所運営も、しやすくなるのは火を見るより明らかです。現在では防災安全課のご協力も得て、町役場の地下に保管され

ていた備蓄食料の多くは、避難所となる各学校へ配備されました。そのおかげで、7年前の発案時には地域住民への緊急提供も視野に入れていましたが、その役割が外れ、純然と児童生徒本人を守る緊急食料の役割に特化することが出来たので、「1コイン」で実現できる現方式にまとまりました。おかゆの賞味期限は2022.8.22ですので、来年6月の入れ替え時に、「君たちを守ってくれたおかゆだよ」と、約2ヶ月の賞味期限を残し、全児童に一人3個の白がゆが配付されます。お水は10年保存できる水ですが、一人1本持ち帰りとなります。

ひとたび、震度6以上の激しい地震がきてしまったら、その瞬間から、現在の日常とは大きく異なる、復興再建への厳しい現実を送ることになります。それがいつなのかは全く分かりませんが、「相模トラフによる南関東でのM7以上の地震の、この先30年の発生確率は、70%」(災害列島 命を守る情報サイト URLを紹介)

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/natural-disaster/natural-disaster_14.html

…と、いつ来てもおかしくない状況なので、今回からのこの措置は大変心強い支援だと感じています。今年も長柄南郷合同避難所運営委員会も開きたい意向があります。地域の防災拠点として、しっかりその役目を果たせるように努めていきたいと思えます。

◆◆ 放課後サポート学習教室 2学期 参加申し込み受け付け終了します。 ◆◆

7月6日、担当の先生とともに湘南ビーチFMの番組「わっしょい葉山」に出演してきました。

去年から変わったこととして、①参加資格がやる気重視になったこと ②月曜日から金曜日まで毎日指導してくださる先生をお迎えできたこと ③場所も、広い図書室に会場を移し、参加人数も1日10人弱に絞れていること ④町民から寄せていただいた「学びを止めない支援金」から、図書室にコピー印刷機能のプリンターを入れていただいたことなどを紹介しました。

早速届いた申込書に、「一学期のサポート教室のおかげで、今まで苦手と感じていた算数が好きになり、自信もついたようです。先生方本当にありがとうございます。引き続き通わせていただけるとありがたいです。二学期もよろしくお願ひします。」というメッセージが添えられていたことも紹介しました。最後に、「今長柄でやっているサポート学習は、誰が校長になっても、継続していける体制・実績ができあがったと思います。去年・今年に限らず、これからも続いてほしいなど強く願ひます。」と結ばせていただきました。



P.S 2学期の申し込みを忘れていたご家庭の方は、すぐに校長までお電話ください。7/20まで対応します。

◆◆ 夏休み明け9月には、授業参観・懇談会を予定しています。 ◆◆

1日1学年。5時間目授業公開。6時間目に懇談会を、広い特別教室を3カ所活用して実施予定です。もちろん大前提は、オリンピック開けの神奈川県(国内)の状況が、授業参観を禁止していない場合となります。

- 9月10日(金) 5学年 授業参観・キャンプ説明会(体育館)
- 9月13日(月) 6学年 授業参観・修学旅行説明会(体育館)
- 9月14日(火) 1学年 授業参観・懇談会(特別教室3カ所)
- 9月15日(水) 2学年 授業参観・懇談会(特別教室3カ所)
- 9月16日(木) 3学年 授業参観・懇談会(特別教室3カ所)
- 9月17日(金) 4学年 授業参観・懇談会(特別教室3カ所)

まだ計画段階ではありますが、各学年教室が密になることを避けるため、参観者は各ご家庭1名に制限したり、授業参観できる時間帯を分割して、同時に見られる保護者数を調整したり、低学年教室については、廊下ドアを外すとともに、教室棟とプールとの間の外からの参観……といったアイデアで臨む予定です。決定したら9月にお伝えします。オリンピックを経て、感染爆発が起こっていないことを心から願ひますが、それほど楽観できるとは実は思っておりません。皆様も、お子様を含め夏休みの健康管理に努めてください。